

所沢市財政トークス

第19号「27年度当初予算」

所沢市財務部財政課発行

平成27年4月

平成27年度一般会計当初予算額は、
927億5,000万円となりました！！



前年度比 9億2,400万円、1.0%の増額です。

◎全会計当初予算総額は 1,794億1,811万円 となりました

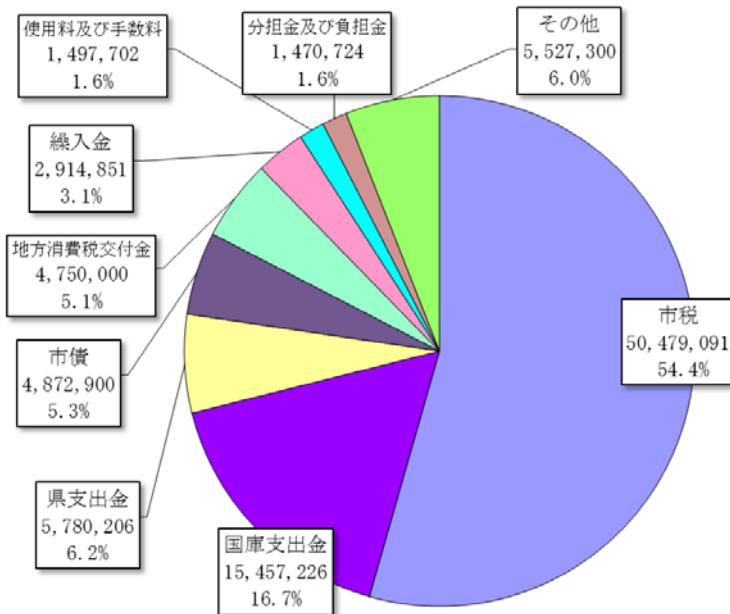
内 訳 □一般会計 927億5,000万円

□特別会計 662億 370万円

□事業会計 204億6,441万円

1 平成27年度所沢市一般会計当初予算の概要

〈歳入 927億5,000万円〉



※ □内の%は構成比、金額の単位は千円

歳入の根幹となる市税は、約504億8千万円で前年度とほぼ同額となり、歳入全体の54.4%を占めています。

また、**県支出金**は国勢調査委託金や知事選挙委託金の増により3.7億円(6.9%)の増、**地方消費税交付金**は昨年4月からの消費税率引き上げに伴い15.2億円(47.1%)の増となりました。

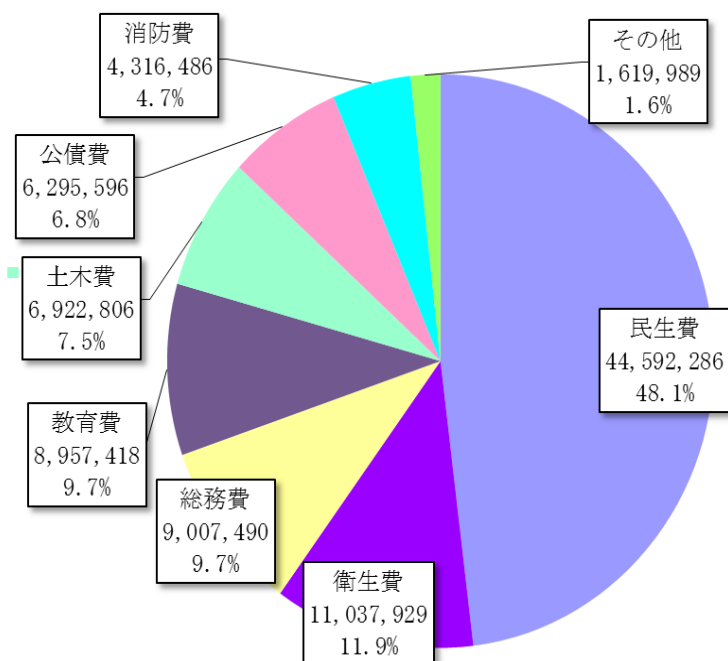
その一方で、**国庫支出金**は臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金補助金などの減により2.0億円(▲1.2%)の減となりました。

また、**地方交付税**は、地方消費税交付金の増加などに伴う普通交付税の減により8.4億円(▲43.4%)の減となりました。

単位：千円

区分	当初予算額		差額	伸率	主な増減理由
	H27年度	H26年度			
市税	50,479,091	50,489,000	▲9,909	0.0%	—
国庫支出金	15,457,226	15,652,445	▲195,219	▲1.2%	臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金補助金の減
県支出金	5,780,206	5,407,067	373,139	6.9%	国勢調査委託金・知事選挙委託金の増
市債	4,872,900	5,462,800	▲589,900	▲10.8%	臨時財政対策債の減
地方消費税交付金	4,750,000	3,230,000	1,520,000	47.1%	消費税率引き上げに伴う増
繰入金	2,914,851	2,824,534	90,317	3.2%	マチごとエコタウン推進基金繰入金の増
使用料及び手数料	1,497,702	1,479,115	18,587	1.3%	一般廃棄物処分手数料の増
分担金及び負担金	1,470,724	1,386,452	84,272	6.1%	児童福祉費一部負担金の増
その他	5,527,300	5,894,587	▲367,287	▲6.2%	普通交付税の減
合計	92,750,000	91,826,000	924,000	1.0%	

〈歳出(目的別) 927億5,000万円〉



- 民生費 … 児童・障害者・高齢者福祉や生活保護など福祉に要する経費です。
- 衛生費 … 保健衛生や環境対策、ごみ処理などに要する経費です。
- 総務費 … 本庁舎管理や戸籍、統計などに要する経費です。
- 教育費 … 学校教育や社会教育の振興などに要する経費です。
- 土木費 … 道路、河川、住宅、公園など各種の公共施設の建設整備のための経費です。
- 公債費 … 市が借入れた市債を返済するための経費です。
- 消防費 … 消防や災害対策のための経費です。
- その他 … 議会費、労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、予備費

※ □ 内の%は構成比、金額の単位は千円

上のグラフは歳出をどのような目的で使うかをあらわしたものです。

目的別経費のうち最も割合が高いのは**民生費**で、歳出総額のおよそ半分(48.1%)を占めています。障害者支援費をはじめとする社会保障経費の増加により前年度の当初予算と比較して5.9億円(1.3%)の増となりました。

2番目に大きいのが全体の11.9%を占める**衛生費**です。西部クリーンセンターの長寿命化工事の増加などにより6.9億円(6.6%)の増となっています。また、**教育費**は小・中学校トイレ改修工事や教科書改訂に伴う教科書購入費の増加などにより3.7億円(4.3%)の増となっています。

一方で、**総務費**は、税系システム開発委託料の減などにより0.2億円(▲0.3%)の減となっています。また、**土木費**は北野下富線道路築造事業費や下水道事業会計への補助金の減などにより5.0億円(6.7%)の減となっています。なお、その他には、**議会費、労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、予備費**が含まれています。

単位：千円

区分	当初予算額		差額	伸率	主な増減理由
	H27年度	H26年度			
民生費	44,592,286	44,006,150	586,136	1.3%	民間保育園保育実施委託料、児童クラブ施設管理委託料の増
衛生費	11,037,929	10,352,433	685,496	6.6%	西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)工事の増
総務費	9,007,490	9,030,855	▲23,365	▲0.3%	税系システム開発委託料の減
教育費	8,957,418	8,587,608	369,810	4.3%	小・中学校トイレ改修工事、教科書改訂に伴う教科書等購入費の増
土木費	6,922,806	7,423,177	▲500,371	▲6.7%	北野下富線道路築造費、下水道事業会計補助金の減
公債費	6,295,596	6,784,516	▲488,920	▲7.2%	東部クリーンセンター建設事業債の減
消防費	4,316,486	4,186,621	129,865	3.1%	埼玉西部消防組合負担金の増
その他	1,619,989	1,454,640	165,349	11.4%	ラーク所沢施設改修工事の増
合計	92,750,000	91,826,000	924,000	1.0%	

〈歳出(性質別) 927億5,000万円〉

扶助費 … 児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して支給される社会保障経費です。

人件費 … 報酬、給料、職員手当など労働の対価として支払われる経費です。

物件費 … 賃金、旅費、需用費、委託料など消費的性質の経費です。

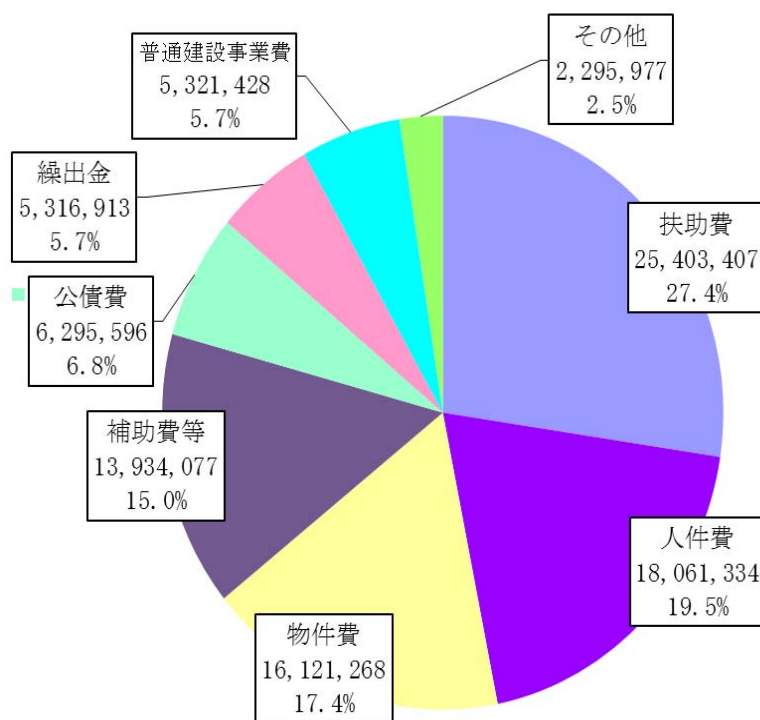
補助費等 … 補助金、報償費、負担金などの経費です。

公債費 … 市が借り入れた市債を返済するための経費です。

繰出金 … 特別会計などに対し支出するための経費です。

普通建設事業費 … 道路や学校等の公共施設の整備に要する経費です。

その他 … 維持補修費、災害復旧費、積立金、貸付金、予備費



※ 内の%は構成比、金額の単位は千円

上のグラフは歳出をどのような性質で使うかをあらわしたものです。

性質別経費のうち最も割合が高いのは**扶助費**です。目的別経費の民生費と同様に社会保障経費の増加により平成26年度の当初予算と比較して4.2億円(1.7%)の増となりました。

また、**人件費**は国勢調査の執行に伴う統計調査員及び指導員報酬の増により1.2億円(0.6%)の増となりました。

一方で、**公債費**は東部クリーンセンター建設事業債の減などにより4.9億円(▲7.2%)の減となりました。また、**物件費**は家庭保育室委託料の減などにより1.2億円(▲0.7%)の減となりました。なお、その他には、**維持補修費、災害復旧費、積立金、貸付金、予備費**が含まれています。

単位：千円

区 分	当初予算額		差額	伸率	主な増減理由
	H27年度	H26年度			
扶 助 費	25,403,407	24,984,008	419,399	1.7%	民間保育園委託、障害者支援費の増
人 件 費	18,061,334	17,945,292	116,042	0.6%	統計調査員及び指導員報酬(国勢調査)の増
物 件 費	16,121,268	16,240,939	▲119,671	▲0.7%	家庭保育室委託料の減
補 助 費 等	13,934,077	13,876,106	57,971	0.4%	埼玉西部消防組合負担金、選挙公営負担金の増
公 債 費	6,295,596	6,784,516	▲488,920	▲7.2%	東部クリーンセンター建設事業債の減
繰 出 金	5,316,913	5,151,492	165,421	3.2%	国民健康保険特別会計繰出金の増
普通建設事業費	5,321,428	4,711,215	610,213	13.0%	西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)工事の増
そ の 他	2,295,977	2,132,432	163,545	7.7%	東部クリーンセンター施設修繕料の増
合 計	92,750,000	91,826,000	924,000	1.0%	

2 平成27年度の主な施策

その1 道路照明灯LED化整備事業 平成27年度 0.7億円（総額8.6億円）

「マチごとエコタウン所沢構想」に基づき、市内の温室効果ガス排出量削減及び道路照明灯の消費電力抑制のため、市が管理する道路照明灯の約 8,600 灯をLEDに更新します。



この事業により、CO2 排出量が年間約 1,000t(杉の木約 7 万本が吸収する量)、電気料及び維持管理費が年間約 1,500 万円削減されることが見込まれます。

LED道路照明灯の導入にあたっては、器具の調達から取替工事、維持管理の全てを含めた 10 年間（平成 28 年 3 月～平成 38 年 2 月）の包括リース方式で行ないます。

その2 (仮称)所沢市総合福祉センター(複合施設)整備事業 平成27年度 5.6億円（総額30.6億円）



地域福祉の中心的な役割を担う拠点として、また、子育て支援や子ども発達支援の機能などを併せ持つ複合施設として、平成 28 年度の供用開始を目指して整備を進めます。

平成 27 年度は、建築、電気設備、機械設備などの工事を予定しています。

所在地； 泉町 1861 番地の 1

(旧新所沢コミュニティセンター別館跡地)

その3 西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)事業 平成27年度 10.5億円（総額34.9億円）



平成元年に稼動し、平成 11 年に改造工事を実施した西部クリーンセンターについて、施設の老朽化が進んでいるため、基幹的設備を改良し施設の長寿命化を図るとともに、排出される二酸化炭素量を削減する工事を 26 年度から 28 年度までの 3 カ年の継続事業として実施しています。

所在地：林 1 丁目 320 番地

**所沢市では他にもたくさんの事業を行っています。
詳細については、広報ところざわ5月号や、
市HP「27年度予算」で検索してご覧ください!!**



3 所沢市の予算を「家計」に例えてみると・・・

所沢市の平成27年度の歳入歳出予算(927億5千万円)を年間の収支が500万円(1月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。



「給料(基本給)」の占める割合は人口構造や経済状況の影響により減少傾向にあります。その分を「給料(諸手当)」の増加分や「貯金の取り崩し」を増やすことによって補っています。

《収入》

給料	26万7,000円
うち基本給 (市税)	22万7,000円
うち諸手当 (地方交付税など)	4万0,000円
親からの援助 (国・県支出金など)	9万8,000円
銀行からの借入 (市債)	2万2,000円
貯金の取り崩し (繰入金)	1万3,000円
その他収入 (使用料・手数料など)	1万6,000円
計	41万6,000円

《支出》

食費 (人件費)	8万1,000円
家族の医療費 (扶助費)	11万4,000円
ローンの返済 (公債費)	2万8,000円
光熱水費など雑費 (物件費など)	7万2,000円
車などの修理代 (維持補修費)	1万0,000円
家族への仕送り・貯金 (補助費・繰出金・積立金)	8万7,000円
家の増改築費 (普通建設事業費など)	2万4,000円
計	41万6,000円

義務的経費



「食費」、「家族の医療費」、「ローンの返済」の3つを合わせて「義務的経費」と呼んでいます。この「義務的経費」の割合が大きくなると家計のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)と同様に自由に使えるお金が少なくなり、家計にあまり余裕がないことを意味します。所沢市では「食費」と「ローンの返済」の割合は減少傾向にありますが、高齢化の進展などにより「家族の医療費」が年々増えています。

《今後の見通し》 所沢市の家計は、給料(基本給)の大幅な増加が期待できないなか、「家族の医療費」や、老朽化した公共施設の改修や修繕に要する費用として「車などの修理代」も増加するなど、引き続き厳しい財政状況にあります。今後も限られた財源を効果的・効率的に活用し、計画的に家計をやりくりしていきます。